

支部春闘集会を 開催しました



ひろしま

郵政産業労働者
ユニオン広島支部
(広島郵便局内)

大幅賃上げの実現 を!

3月13日、五月が丘公民館において「郵政ユニオン広島支部 第5回支部委員会・22春闘集会」を開催しました。

増田支部長のあいさつの後、上半期の活動報告が行われ、今春闘の方針と本部交渉の経過報告、そして広島支部としての具体的なとりくみについて論議し、組合員同士の結束

を確認しました。

郵政ユニオンは今春闘において「コロナ禍だからこそ大幅な賃金引上げの実現」、「8時間働けば誰もが人間らしく暮らせる社会の実現」を柱に、「すべての格差の是正」、「要員不足の解消と長時間労働の是正」などの要求を掲げてたたかいを進めています。

広島局で働く郵政労働者をとりまく現状

1月には翌配体制見直しの第二段階を終え、郵便部において正社員は深夜労働が減り、期間雇用社員は早出勤務が新設され、私たちの働き方は大きく変化しました。深夜労働

の減少に合わせて深夜勤務の手当も少なくなり、手当を含めた生活設計をしていた人は一層の儉約に励まなければならなくなりました。また、ガソリンを中心に食料品、日用品などの物価上昇が労働者の生活を圧迫し始めています。安心して生活できるように確定な手当を当てにしない「基本給の引き上げ」が必須となっております。

昨年、皆さんにご協力いただきました「22春闘アンケート」の結果についても、「生活実感」では6割を超える人が「苦しい」と回答しています。会社はこのような郵政労働者の切実な思いをくみとり、真摯に応えるべきです。

郵政ユニオン広島支部の組合事務室を獲得しよう! 会社は組合事務室を貸与せよ!

会社は要求に応える 姿勢を見せず

今春闘において、郵政ユニオン本部は日本郵政グループ各社とこれまで4回の賃金交渉を行ってきました。

会社は現在、様々な角度から検討中であるとした上で、「処遇改善全般」については、グループ各社の経営状況について前年同期比で下がっており、きびしい状況であるとの考えに終始し、「今時点で要求に応えるのは難しい」と述べるとどまっています。会社の現時点での考え方からは、私たちの要求に応える姿勢が全く見られません。

賃上げの体力は十分 にある！

しかし日本郵政グループは、現段階の進捗率で通期の純利益を上回る業績を上げています。私たちの賃金や時給の引き上げは、後年度の負担分を考慮しても十分に実施できる財政状況だと考えます。株主ばかりを優遇するのではなく、労働者も優遇した賃金の分配が行わなければなりません。

要求に対して誠意ある 回答を！

「PIWUひろしま」前号では、2月18日に会社に提出した「22春闘要求書」を

ご紹介しました。これらの要求の回答を私たちは「3月15日まで」に求めています。私たちは要求に対する会社の回答を注視し、要求実現にむけてこれからも粘り強くたたかい抜いていきます。

